



高松市議会

News No.18

議員 香川洋二（獣医師）

H20年度第5回定例会は12月5日（金）から19日（金）の日程で開催され、最終日補正予算15億8百万円を含む35議案と人事案件3件など可決して閉会。補正の主たるものは国史跡石清尾古墳群の1つ「鶴尾神社4号古墳」保存対策事業費8千万円が含まれる。

市役所労使のあり方！

市職労：管理職に組織的協賛金要請
市長「不健全である」と改善指示へ



臨時賞与時、課長補佐級以上の管理職に高松市職員労働組合が協賛金という名目の寄付を

要請してきたことは、「不適切・不健全である」と管理職に市長命で改めるよう指示。労使間における馴れ合いは市民の不信感を増幅させる。

高松市職員労働組合との書面協定見直しへ

行財政改革は人事改革であると機会あるごと述べてきた。労使間では「書面協定」という合意書で勤務等が行なわれる。古い書面は昭和56年10月15日付で現在152書面協定が同組合及び同連合会間で結ばれている。時代と乖離した協定書も多く、例えば学校で用務員が照明器具を交換する場合、脚立の安全確保を必要とすると記載されており、現実には用務員1人では安全確保が出来ないので、通常交換作業は業者・校長等任せとなっている。職員の仕事に対する姿勢が問われる。

黒塗り公用車運用見直しを

市では黒塗り公用車が市長、議長等用に5台運用。1台あたり年間平均走行距離6,200km、運用経費約31万円。これに人件費1人当たり約700万円前後を加えると、民間旅客運送業者にシフトするほうが経費節約。見直しの必要性に対し、現在市長送迎等にタクシーを使用しており、見直しは困難と答弁。

鶴尾4号古墳保存対策前進

石清尾古墳群の1つ「鶴尾神社4号古墳」が香川県による砕石許可により一



部損壊し、また、崩落の危険性もおきていることから、旧砕石場の本体部分22,406㎡進入路部分2,350㎡を8千万円で購入する。購入地は、都市計画道路・木太鬼無



線トンネル工事で排出される残土約17万m³を復元に利用する。本来復元に必要な土量は約40万m³で不足部分は今後検討する。(go ogleより転写・右側は奥の池。写真上：山頂部が鶴尾4号古墳 県の愚許可により砕石として削られた)

12月議会の一般質問原稿及び答弁書はホームページからご覧下さい。

<http://www.kagawayoji.com/>

youtube yojikagawaで70本以上地元話題ニュースを配信中！

12月議会一般質問要旨

(1) 自治会について
高松市における自治会組織数ならびに自治会加入率
自治会加入率低下に対する所見
自治会に関する広報推進についての所見
自治委員会組織構築についての考え
(2) 高松市職員労働組合について
高松市職員労働組合連合会に所属している労働組合名
書面協定が最初に当局と交わされた年と現在までの書面協定数および項目別、分類別数
職務命令と書面協定、優先されるのは
書面協定の法的効力についての所見
労使協議は公開されるべきではないか
書面協定は情報公開請求に該当するか
当局と高松市職員労働組合ならびに高松市職員労働組合連合会が締結した書面協定を今の時代に即応した内容に見直す考え
組合が管理職に寄付を求めると、管理職が組合に寄付をするという行為は不適切で不健全ではないか
(3) 公用車の扱いについて
本市所有の3及び5ナンバーの黒塗り公用車保有台数
市長、議長等が利用している黒塗り公用車の1年間平均走行距離と1台当たりの人件費を除く運用コスト
黒塗り公用車の運用見直しと地元旅客運送業者を活用する考え
市職員の自家用車公務使用を認める考え
(4) 高松市立美術館のあり方
高松市美術館における平成19年度の特別展の有料入館者数と無料入館者数。また、無料入館者に占める児童生徒数。平成19年度特別展でもっとも入館者数の多い特別展と少なかった特別展
平成19年度特別展における各々の開催経費、観覧収入ならびに収支の割合
平成19年度および20年度における収蔵品の種類、点数ならびに購入金額
開館以来収蔵された作品の点数と金額
塩江美術館で高松市美術館収蔵品を展示する考え

ウェブ上での作品紹介の著作権問題は、著作権料支払いにより解決できるのでは。また、新規収蔵品は著作権料込みの金額とする考え
学芸員の研究成果、また、年間報告書をウェブ上で情報提供する考え
高松市収蔵品情報システムの検索機能不備と情報不足についてどう対処するのか
美術、芸術愛好家の底辺拡大のため、特別展の予算を割愛し、2階展示室を短期間でも発表の場として活用する考え
他市の美術館の指定管理者制度導入の現況
高松市立の美術館も指定管理者制度導入を
美術館長の席を退職幹部の天下り先にすべきでない考え
(5) 瀬戸内国際芸術祭について
瀬戸内国際芸術祭は現代アートに集約か
庁内の組織体制をどうするのか
高松市美術館はどうかかわるのか。この芸術祭を高松市美術館活性の起爆剤とする考え
動員目標人数、また、経済的効果について
平成21年に予定している瀬戸内国際芸術祭のイベント
(6) 観光行政について
観光戦略のための基礎的データの収集状況
本市観光の現状に対する認識と持続的なトップセールスの必要性
レンタサイクル利用の観光地めぐりについて
ウェブ上で共通キーワードを官民で共有し、多様な情報を発信する考え
説明ガイドの手法、QRコードを導入の考え
(7) 教育問題
給食を実施している先進国の状況は
給食は本当に必要なのか
給食制度が保護者にネグレクトの種をまいているのではないか
手作り弁当持参運動を推進する考え
食育は児童生徒だけでなく、保護者に対しても積極的に働きかける考え
食の安全のため、地元産品にあっても残留農薬等の抜き打ち検査をする考え
アイデンティティー確立、国際化教育のため、教育現場では毎日国旗校旗を掲揚する考え